Apple vs Samsung　知財バトル

日本弁理士会東海支部
弁理士・弁護士　加藤光宏

JPAA
日本弁理士会

対象製品

スマートフォン、タブレット端末など（国ごとに対象製品は異なる）が紛争対象

Apple側

IPhone 3G, iPhone 4,
iPod touch, iPadなど

Vs

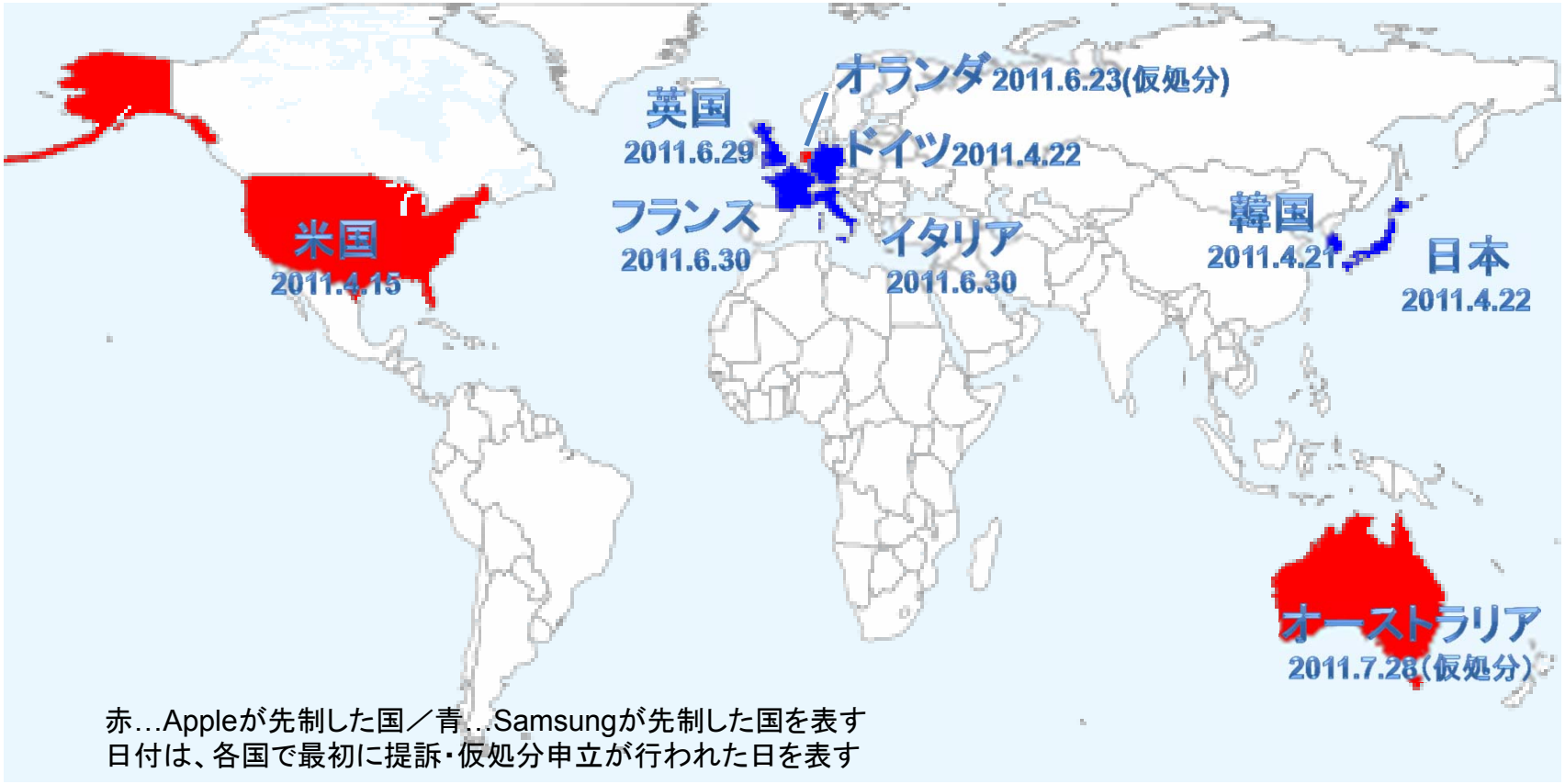
Samsung側

http://androidken.blog119.fc2.com/より

Galaxyシリーズ,Acclaim, Captivate, Continuumなど

訴訟マップ

・全世界9カ国で訴訟進行中
・戦場を世界に広げたのはSamsung
・仮処分申立や輸入禁止措置の申請などが行われている国もある



赤…Appleが先制した国／青…Samsungが先制した国を表す
日付は、各国で最初に提訴・仮処分申立が行われた日を表す

SamsungとAppleの関係

完成品→SamsungはAppleのライバル

部　品→SamsungはAppleの協力会社

・iPhoneの重要部品（プロセッサ、メモリDRAM）を全てSamsungが供給
・新iPadでは液晶ディスプレイを供給

Samsungのビジネス戦略

Appleなど他社の部品供給を行うことで、部品の製造量が増える
↓
大量生産によりコスト低減
↓
自社製品も安価に製造可能

新iPadを解体したところ（米iFixitによる）

紛争はなぜ起きた？

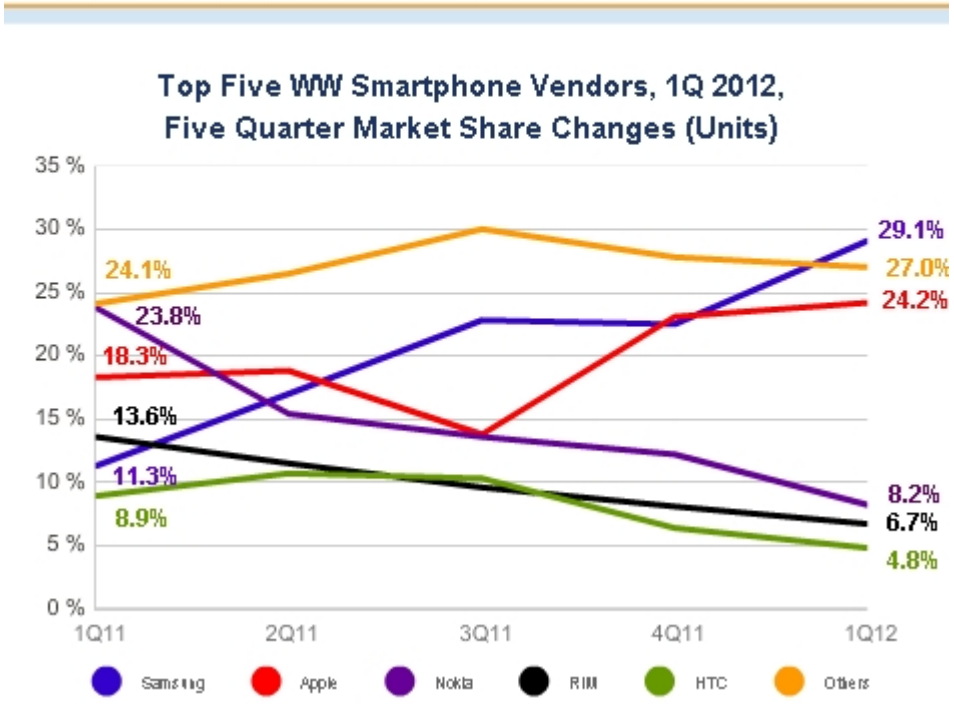
・スマートフォン市場開拓者としての誇り
　2007.6　AppleがiPhone発売

・デザインへの思い入れ
　デザイン普及に多額の広告費投入

・交渉協議の決裂
　2010.7　SamsungがGalaxy S発売
（AppleはSamsungに製品の類似性について協議を継続したがSamsungは次々に新製品を発売）

・危機感
　2011年にはSamsungがAppleに次いでスマートフォンのシェア第2位に

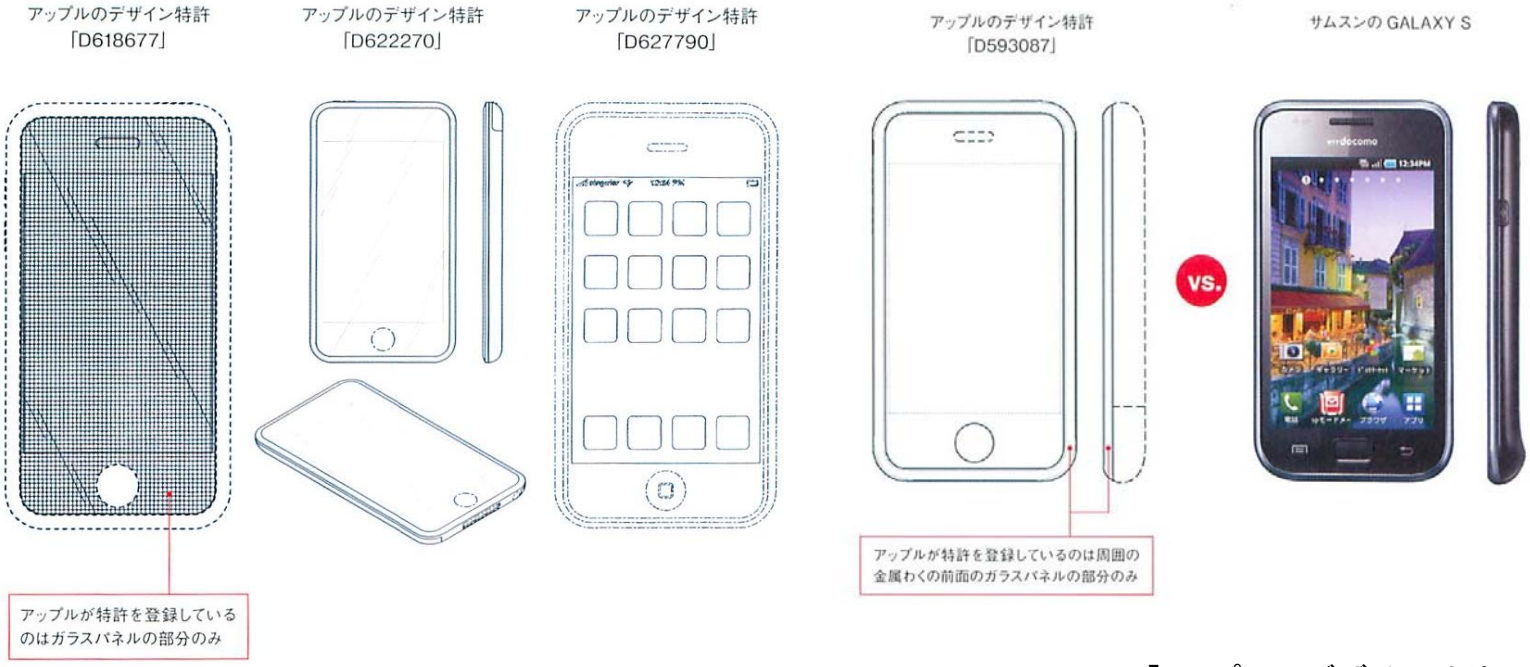
2011年、SamsungがAppleに迫った！



http://juggly.cn/archives/59307.html　より

Appleの攻撃（1）（米国訴訟の場合）

・Appleの第1の武器は、デザイン特許（意匠権）だった（米国訴訟の場合）。
・デザインは、「模倣」についての心証を得やすいという利点がある。
・部分意匠を活用している。



「アップルのデザイン」より

Appleの攻撃（2）（米国訴訟の場合）

・Appleの第2の武器は、アイコンの商標権だった（米国訴訟の場合）。
・アイコンの保護に商標権を選択したAppleの戦略に注目。
…（余談）電話のアイコンは、現代の若者にも通用する？

Appleの商標権

米国商標3866196

米国商標3886197

米国商標3889642

米国商標2935038

米国商標3889685

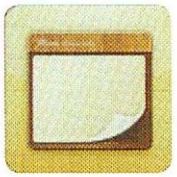
米国商標3886169

米国商標3886200

アップルは、同社がiPhoneなどで使っている以下のアイコンを商標として登録している

Vs

Samsung側



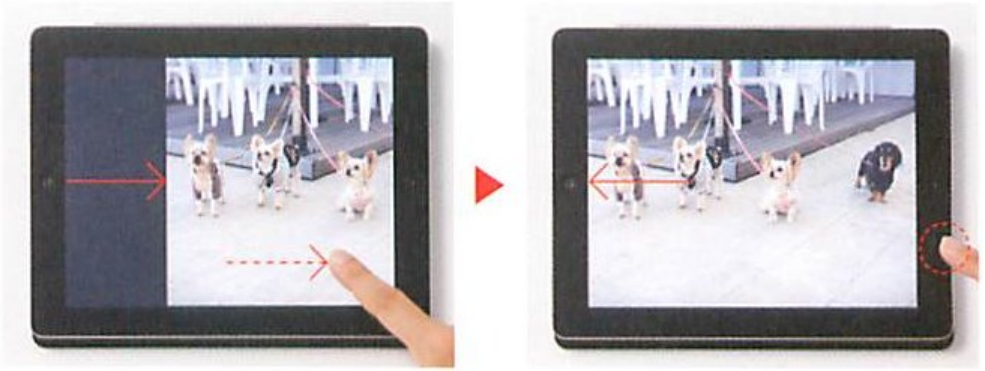
サムスンの「GALAXY S」で使われているアイコン

「アップルのデザイン」より

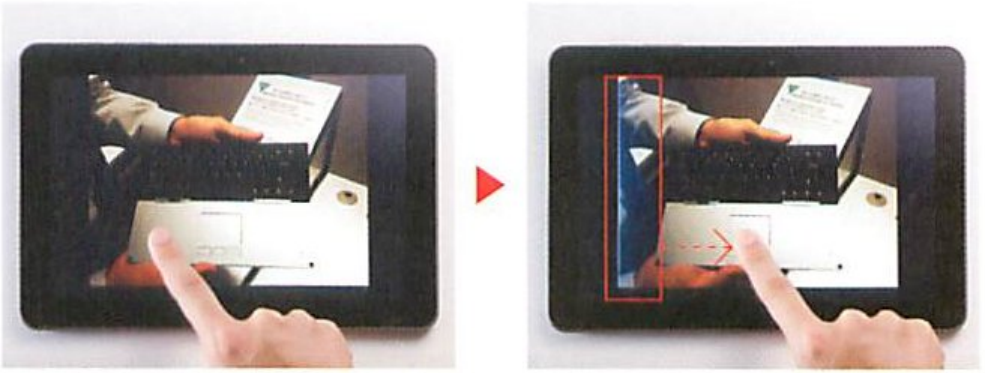
Appleの攻撃（3）（米国訴訟の場合）

・Appleの特許は、画面の操作性に関するものが中心。
・製品の機能面では必須とは言えないが、使い心地としては、どうか？
　→デザイン的な特許権は、「経験値化」に大いに寄与する。

US7,469,381（通称を381特許と言う）
最後のページは、スクロールの指を離すと画像が元の位置に戻るもの



Samsungは、Galaxy Tab　10.1で、最後のページでは、端が青く光るようにソフトウェアを改修した。



「アップルのデザイン」より

Samsungの反撃

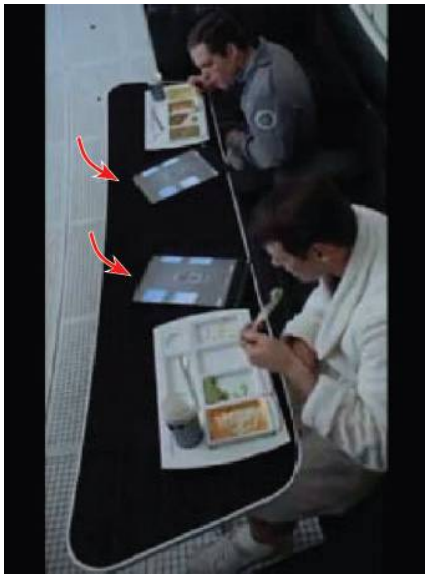
・Appleのデザインは、既に以前から存在している（新規性なし）と主張
→Appleの権利を無効にすることで侵害回避を狙った（特許についても同様）

電子新聞(1981年)

電子新聞(1991年)

http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20111115/374508/より

1968年映画「2001年宇宙の旅」のワンシーン



1970年テレビドラマ「The Tomorrow People」のワンシーン

裁判所（米国）の判断
iPadについては無効、iPhoneについては一部有効（権利範囲は狭い）

Samsungの攻撃（オランダ訴訟の場合）

Apple側

通信用のチップはインテルから購入した。インテルがサムスンからライセンスを受けているから問題ない。（消尽論）

Samsung側

W-CDMA(3G)の通信技術に関する特許権侵害を主張

チップは、インテルの他、インフィニオンからも購入している。インフィニオンはライセンスを受けていない。

裁判所の判断(2012.6.20)
インテルから購入したチップ→特許権侵害とはならない
インフィニオンから購入したチップ→特許権侵害となる

オーストラリアでの攻防

Apple側

2011.7.28
Galaxy Tab 10.1の仮処分申請

2011.10.4　和解案に同意せず

Samsung側

2011.8.1　裁判決着までオーストラリアでGalaxy Tab 10.1を販売しないことに合意

2011.9.30　迅速な審理に協力するから、オーストラリアでの販売させて下さいという和解を提案

2011.10.13　裁判所は、Galaxy Tab10.1の仮処分認容

2011.11.30　控訴審で仮処分決定を取消し

2011.12.09　最高裁判所は、上告棄却
（Galaxy Tab10.1の仮処分認められず）

訴訟以外の攻防

・訴訟とは別に、仮処分、輸入禁止措置の申立も行われている。
・Apple側が、効果的に仮処分等を活用。

国	日時	内容	結果
米国	2011.7.1	GalaxyS4G等の製造、販売、輸入禁止の仮処分	×
米国	2011.7.5	GalaxyS4G等の米国への輸入禁止措置	
米国	2011.6.28	iPhone 3G等の米国への輸入禁止措置	
ドイツ	2011.8.4	Galaxy Tab 10.1の販売禁止の仮処分	○
ドイツ	2011.11.28	Galaxy Tab 10.1N（10.1のデザイン変更版）の販売禁止の仮処分	×
ドイツ	2011.9.2	Galaxy Tab 7.7のマーケティング禁止の仮処分	○
オーストラリア	2011.7.28	Galaxy Tab 10.1の販売禁止の仮処分	×
オーストラリア	2011.10.17	iPhone 3GS等の販売禁止の仮処分	
オランダ	2011.6.23	Galaxy S等の販売禁止の仮処分	○
オランダ	2011.9.26	iPhone,iPadの販売禁止の仮処分	×
日本	2011.6.17	Galaxy S, Galaxy Tabの販売禁止の仮処分	
日本	2011.10.17	iPhone 4, iPhone 4S, iPad2の販売禁止の仮処分	
フランス	2011.10.5	iPhone 4Sの販売禁止の仮処分	×
イギリス	2011.10.7	iPhone 4Sの販売禁止の仮処分	
イタリア	2011.10.5	iPhone 4Sの販売禁止の仮処分	×

赤はAppleによる申請、青はSamsungによる申請

今後の展開

2011.10.5　スティーブジョブズ死去
・AppleのSamsungに対する姿勢は？和解に進むか？
・Appleにとってデザインの重要性は変わらない。

2012.1.20　ドイツでSamsung敗訴（Appleによる特許権侵害は認められず）

2012.4.17　米国でApple,Samsungの和解交渉開始→決裂し、今後、判決へ

2012.6.20　オランダでSamsung一部勝訴判決
2012.6.26　米国でSamsungのGalaxy Tab 10.1の販売差止め仮処分が認められる
2012.7.09　英国でSamsung勝訴（Appleの主張認められず）
：
今後の展開は？
iOSとアンドロイド特許戦争も影響してくるか？

クロスライセンスによる和解のメリット

・クロスライセンス＝各自の特許権等について相互に利用を認め合うこと
・メリット
判決で終結→相手の権利回避が必要→相互の良い点が欠けた商品しかできない
クロスライセンス→相互の権利活用→相互の良い点を包含した製品を開発可能